

総務委員会記録

令和8年2月16日(月)
13時30分～13時54分
第1委員会室

【委員】沖田委員長、柳楽副委員長、
戸津川委員、岡本委員、佐々木委員、西田清久委員、川神委員
【事務局】森井書記

【議題】

- 1 行政視察を終えて（委員間で協議）
 - (1) 委員派遣報告書について
 - (2) 行政視察レポートについて

- 2 議会による事務事業評価の実施事業選出について（委員間で協議）

- 3 その他
 - (1) 3月定例会議における所管事務調査について
 - (2) その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 30 分 開議]

○沖田委員長

ただ今から総務委員会を開催する。出席委員は7名で定足数に達している。それではレジュメに沿って進める。

1 行政視察を終えて（委員間で協議）

(1) 委員派遣報告書について

○沖田委員長

資料1-(1)を参照されたい。これは1月29日から30日にかけて実施した行政視察について、各委員から提出された調査結果や所感を取りまとめたものである。そして、正副委員長で委員会の考察、今後の取組に向けての案を作成し、全体を報告書案とした。

これについて、本日、各委員の意見を聴取し、修正点などがあれば内容を反映していきたい。

それでは、どなたからでも結構であるので、意見をお願いします。

(「なし」という声あり)

意見がないようであるため、正副委員長で作成した案について、各委員の所感を踏まえて考察部分を確認する。

○森井書記

報告書の11ページから、各委員の所感を踏まえ正副委員長でまとめた委員会としての考察を掲載している。これを参照し、さらに加えるべき考察や意見があればお願いしたい。

精査のために休憩をとり、熟読する時間を設けてはどうか。

(「賛成」という声あり)

○沖田委員長

それでは、この際、暫時休憩する。

[13 時 35 分 休憩]

[13 時 43 分 再開]

○沖田委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。考察案について、意見はあるか。

○岡本委員

私は松山市の逃げ遅れゼロプロジェクトの報告書の作成に関わってきた。

私自身の所感についてもそれを主体として述べ、考察案の中には私が言いたいことが網羅されていると考える。

また、今治市の部分についても、施設を利用した関係者の視点などが反映されており、この文章のとおりで問題ない。

○沖田委員長

その他の委員から意見はないか。

(「なし」という声あり)

それでは、委員会の考察についてはこの内容で問題ないということで、議長に提出する流れで進めていきたい。良いか。

(「はい」という声あり)

それではそのように進める。

(2) 行政視察レポートについて

○沖田委員長

資料 1-(2)を参照されたい。

委員派遣報告書の案を基に、行政視察レポートを作成した。これについては、先ほど委員派遣報告書で協議した内容を反映する。

なお、全員協議会での報告については、前回協議したとおり、2月24日火曜日の全員協議会で私が報告する。

これについて、現時点で意見や確認しておきたいことはあるか。

○柳楽副委員長

私はない。

○岡本委員

これで良いと思う。

○沖田委員長

特に重要となる松山市と今治市の考察についてである。松山市に関しては、自主防災組織の強化と防災士の戦略的育成において、継続的な支援体制の必要性と専門性を重視した組織体制を考えている。

2番目のマイ・タイムラインによる避難の実効性向上については、デジタル活用による若年層へのアプローチの加速に向けた検討とする。

また、全世代型防災教育の推進、地域防災の担い手確保と活性化、次世代リーダーの育成の仕組みづくりを掲げた。

避難環境におけるトイレの改善と防災意識の啓発の両立では、実用と啓発の両面での有効性を確認し、導入に向けた現実的な検討を考えている。

今治市の考察では、1番目に公共施設におけるフェーズフリー概念の標準化、平時と有事の価値の両立、設計段階からの導入を提言する。

2番目には、公助の限界を補完する官民・NPO連携の構築、運営体制やソフト面の強化、実効性のある避難所運営、市民意識の醸成と自分事化の促進を挙げた。

さらに、環境啓発体験の工夫による集客、次世代への防災教育、地域のきずなを深めるための拠点化という柱を立てている。

この内容で2月24日の全員協議会で報告したいが、いかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、そのように報告する。

2 議会による事務事業評価の実施事業選出について（委員間で協議）

○沖田委員長

2月6日の全員協議会で決定したように、昨年に引き続き議会による事務事業評価を実施することとなった。

実施の流れはおおむねこれまでと同様であるが、各委員会から選出する事業数は1事業以上となった。評価の対象とする事業は、総務委員会が所管する令和7年度事業である。総務委員会としてどのように決めていくか協議したい。

進め方の案としては、来週2月24日の総務委員会までに各委員から1事業又は2事業ずつ候補と理由を出してもらい、会議の中で協議して絞り込む方法で行いたい

が、いかがか。

(「異議なし」という声あり)

それではそのように進める。事務局から補足はあるか。

○森井書記

追って、各委員にメールで報告様式を送るので、そちらで提出をお願いします。

参考に、資料が二つあり今配信した。一つは、昨年、令和6年度事業についての事務事業評価を実施した各委員会3事業ずつの実績である。

もう一つは、今回評価対象となる事業は令和7年度事業であるので、令和7年度当初予算説明資料から、総務費と消防費関係を抜粋したものである。これらを参考にしながら、事業を選定してほしい。

○沖田委員長

それでは、各委員は2月24日までに選定して提出をお願いします。

3 その他

(1) 3月定例会議における所管事務調査について

○沖田委員長

次回2月24日の総務委員会において、3月定例会議における所管事務調査事項を決定することとなる。現時点で調査事項の候補があれば、事前に共有しておきたいが、委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

特にないようであれば、私から提案する。

前回の12月定例会議において、いくつかの請願を採択した。その後の状況を所管事務調査で確認するのも一つの方法だと考えている。

前回採択した請願の7項目について、進捗状況の確認を含め調査事項をしてはどうかと思うが、いかがか。

(「賛成」という声あり)

それでは、そのように進める。

(2) その他

○沖田委員長

その他、委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようであれば、以上で総務委員会を終了する。

[13 時 54 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第 65 条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務委員会委員長 沖 田 真 治